

紀元前五世紀に、四大靈場にあつた記念品の製作者が、巡禮に賣つてゐた些細な記念品中に求めるのである。

### 後の三大奇蹟

若し此の點が許され、又許さざるを得ない事になると思ふが、之で、最古代派の萌芽と主調とが得られ、其他は従つて自ら得られる事となる。初期の佛教徒が、その靈場から將來した小像が如何なるものであつたかを決定するのは極めて易い事である。若し之がフランスであれば、我々に最も親しみのある例を取つて、ルールド Lourdes で買つて來る像やメダルには、かの奇蹟的出現の窟を描いて何を現はして居るかと聞く所であるが、日本であるから宮島に行く者が誰でも持つて來る記念品や簡単な「お土産」に、何時も描いてあるのは、かの壯大な鳥居でなくては何であるかと問うても宜い。之と同様に、迦毗羅衛、佛陀伽耶、婆羅奈斯、拘尸那竭羅で造つた初期の記念品には、之等の各市附近で、通俗信仰が自然と向つた特徴を取つて現はしたとするより